

第 69 回音シンポジウム

音を巡る空間設計の可能性 —音楽ホールだけではない音響設計—

室内音響学は、これまで主に劇場や音楽ホールなどのパフォーマンス空間の音響設計を中心として発展してきた。一方で、学校、病院、駅などの公共空間でも音は重要な機能を担っている。このような様々な空間設計に、室内音響学で培われた知見を広く応用することが求められている。しかし現状は、音楽ホールなどのパフォーマンス空間以外で音環境が設計要件に挙がるのが少なく、何か問題が発生してから対策を求められることが多い。そこで、建築家、音響設計者、研究者、技術者の立場から、音響設計の課題を抽出するとともに、良好な音環境を設計・実現するために何が必要かを議論し、音を巡る空間設計における今後の可能性を探る。

【主催】環境工学委員会 音環境運営委員会 室内音響小委員会

【日時】2011年5月13日(金) 13:00～17:00

【場所】建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

【定員】150名（当日先着順）

【プログラム】

第一部：講演（13:00～15:00，司会：羽入敏樹）

0. 主旨説明：羽入敏樹（日本大学）
1. 建築設計における音：小嶋一浩（シーラカンス（CAt）・東京理科大学）
2. 建築作品にみる音響設計の課題：上野淳（首都大学東京）
3. 音響設計の実情と課題：司馬義英（日建設計）
4. 公共空間の音環境を考える：橘秀樹（千葉工業大学）
5. 音のユニバーサルデザインを目指して：佐藤洋（産業技術総合研究所）
6. 講演に対する質疑

第二部：パネルディスカッション・全体質疑（15:20～17:00，司会：橘秀樹）

【参加費】会員 1000 円，会員外 1500 円，学生 500 円（資料代含む）

【問合せ】事務局研究事業 G 酒井 sakai@aij.or.jp